

みんなの下水道

しくみとはたらき

指導用



2025年版

東京都虹の下水道館

下水道の仕事を体験しよう!

「下水道ってすごい! おもしろい! ありがたい!」

ふ段は入ることのできない下水道管やポンプ所、中央かん視室、水質検査室で下水道の仕事を体験し、下水道にたずさわる人の思いや工夫に気づくことができます。

場 所 東京都江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階

電 話 03-5564-2458

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

最寄駅 ● 東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ)「お台場海浜公園駅」下車 徒歩8分
● 東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場駅」下車 徒歩12分

休館日 ●月曜日(休日に当たる場合はその翌日) ●年末年始(12月29日から1月3日まで)

※ただし、夏休み期間中、下水道の日(9月10日)および都民の日(10月1日)は開館

※開館時間や休館日などの最新の情報については、ホームページをご確認ください。

<https://www.nijinogesuidoukan.jp>



入館料無料

りょう もりょう



東京都
虹の下水道館
Tokyo Sewerage Museum "Rainbow"

だい ぱ かい ひん こうえん
お台場海浜公園

お台場
海浜公園駅

新交通「ゆりかもめ」

ここの
5階だよ

とうきょうと にじ げ すい どうかん
東京都虹の下水道館
し せつしょうかい

施設紹介動画

かくにん

QRコード

下水道アドベンチャー Webサイト

<https://www.gesuido-adventure.jp>



下水道マイスターになるための
楽しいコンテンツをたくさん用意しています。
ぜひ遊びに来てください!

博士の出題するマイスタークイズをこう略して、
下水道マイスターを目指そう!

くわしくは、[下水道アドベンチャー](#) [検索](#)で検さくしてください。

水道キャラバン Webサイト

<https://www.suido-caravan.metro.tokyo.lg.jp/kids/>



水道を支える人々について
わかりやすくしゃかいしています!

水道について楽しく学べるクイズや
ゲームなどもけいさいされています!

くわしくは、[おうち水道キャラバン キッズページ](#) [検索](#)で検さくしてください。

【企画・発行】

●東京都下水道局 総務部広報サービス課

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03(5320)6515

●令和7年4月

令和6年度規格表第4類登録第157号



この印刷物はリサイクル適正Aランクの
用紙を使用しております。

小学校 年 組

名前

東京都下水道局

水はどこから来て、どこにいくの だろう? 下水道の役割って何だろう?

みんなの 下水道 しきみとはたらき



下水道教育イメージキャラクター
さかなくん

下水道は、私たちの安全で快適な生活を実現する大切な都市インフラです。しかし、下水管は地下に埋設されているため、都民のみなさまには見えにくく、その重要性などをなかなか理解していただけません。

そこで、子供たちが下水道に関心をもち、その役割を正しく理解していただくため、本書「みんなの下水道」を作成し、配布しています。

本書は、小学校4年生向け学習資料「みんなの下水道」の指導書として、各項目ごとに「学習のめあて」や「指導のポイント」を示し、先生方が児童に指導される際に、効果的な授業が実施できるよう作成しました。

水を中心とした環境学習等において、高学年の授業でも活用していただければ幸いです。

「下水道教育 写真素材集」の
ご案内

下水道アドベンチャーHPでは、本冊子に掲載している写真素材をダウンロードできます。
授業用の教材として、ぜひご自由にご活用ください。

【下水道教育 写真素材集】
<https://www.gesuido-adventure.jp/sozai/>

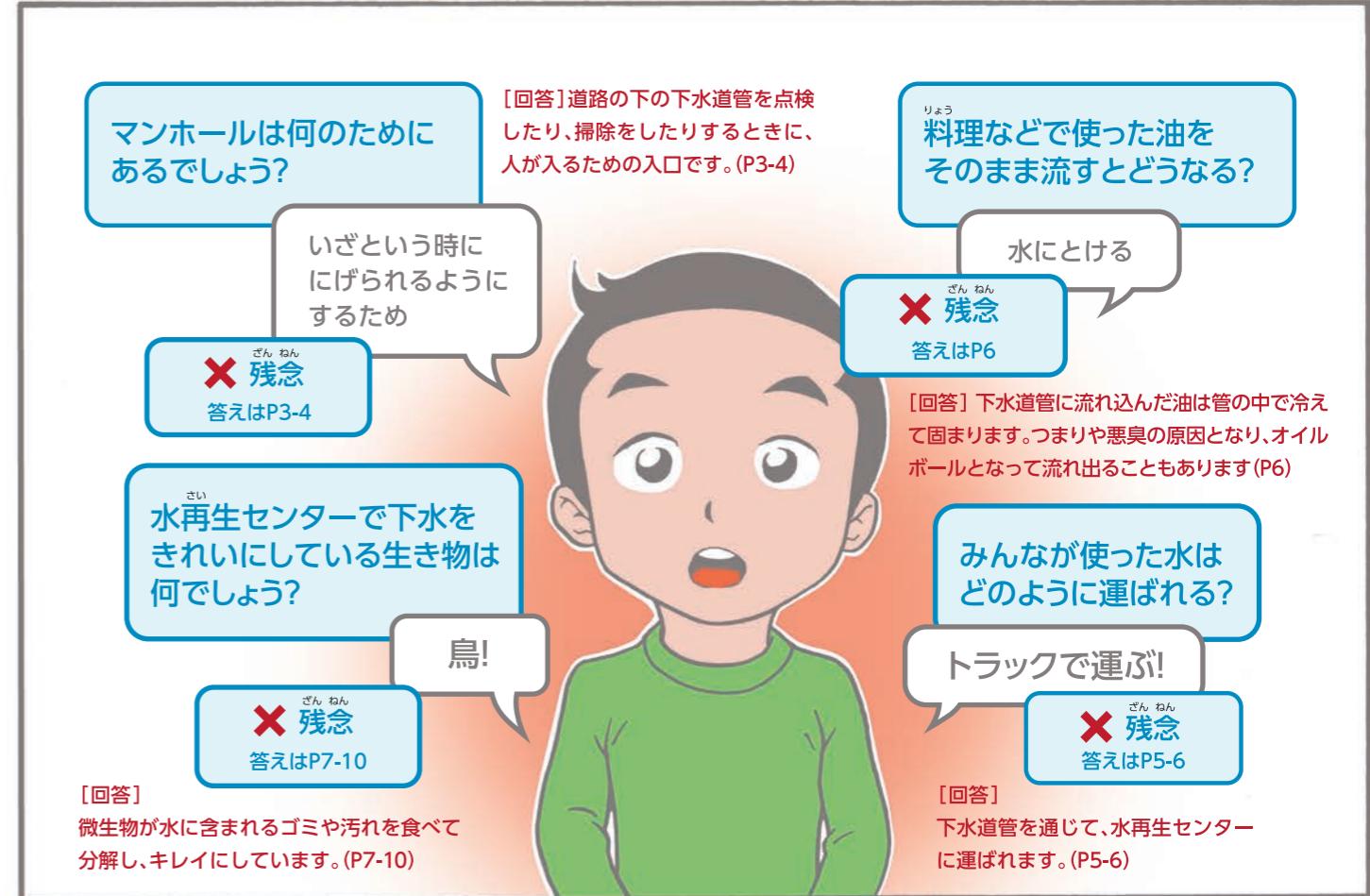
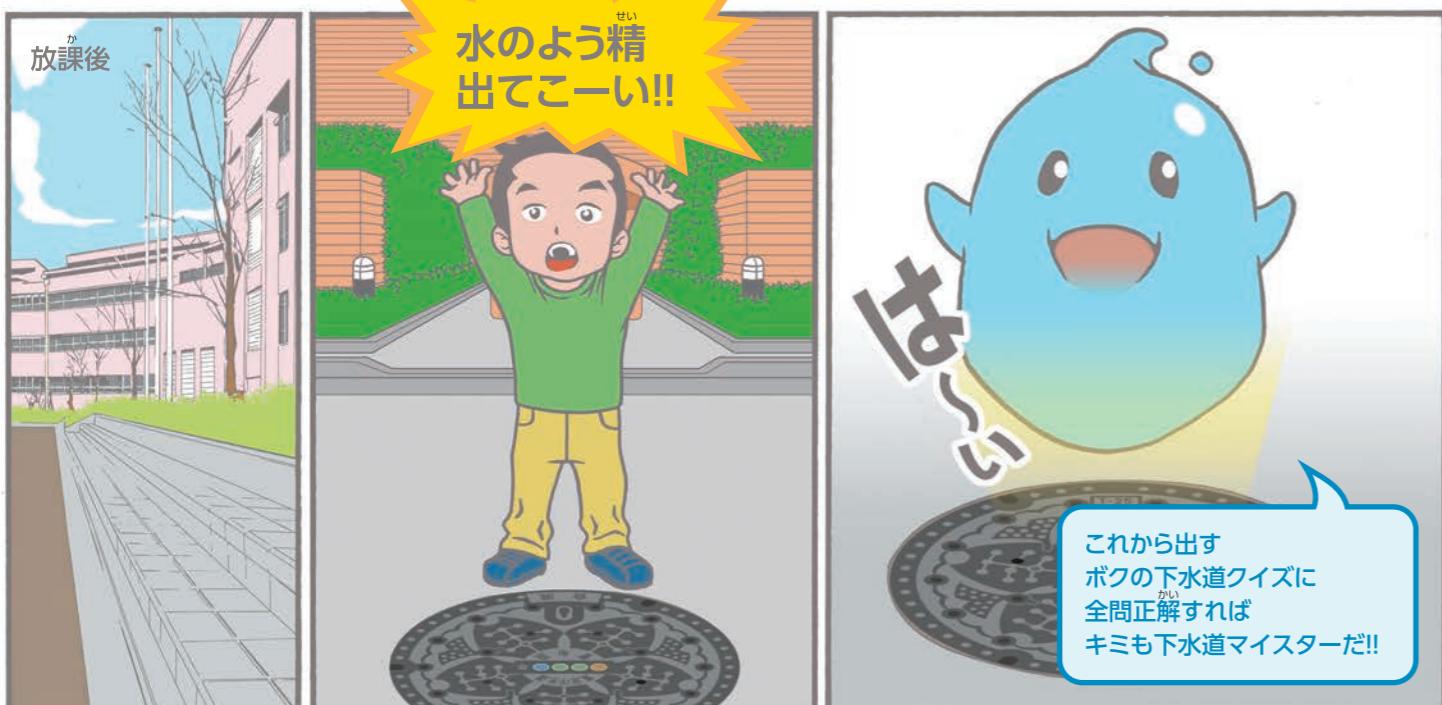


下水道局
キャラクター
アースくん



もくじ

めざせ!!下水道マイスター・1-2	1-2
よごれた水のゆくえ …… 3-4	3-4
下水道管と働く人たち …… 5-6	5-6
水再生センターのしくみ …… 7-8	7-8
水再生センターで働く人たち … 9	9
活やくするび生物 ……… 10	10
水再生センターマップ …… 11-12	11-12
資源の有効利用 ……… 13	13
川の変化 …………… 14	14
世界の水かん境とSDGs … 15	15
災害時の下水道 ……… 16	16
考えてみよう …………… 17	17
まとめてみよう ……… 18	18
下水道豆知識クイズ …… 19	19
参加型プログラム ……… 20	20



よごれた水のゆくえ

汚れた水のゆくえ

【学習のめあて】

- わたしたちが使って汚れた水は、下水管に流れていくことを理解する。
- わたしたちが暮らしの中でどこでどのくらい汚れた水を流しているのかを調べ、汚れた水の行方について関心をもつ。

【指導のポイント】

- 学校内で排水口を探す活動を行う時には、どこにあるか、いくつあるか、どのような形か、に注目させる。
- 自分たちは、暮らしの中でどんな時に水を使っているのか、また、使ったあの水はどうなっているかを発表させ、資料で確認させる。

参考 下水の種類

下水は、生活若しくは事業(耕作の事業は除く)に起因し、若しくは付随する廃水又は雨水をいう(下水道法第2条)。

(1)汚水

- ①水洗トイレの排水
- ②台所、風呂、洗面所、洗濯場の排水
- ③屋外洗い場などの排水
- ④冷却水
- ⑤プール排水
- ⑥地下構造物からの湧水
- ⑦工場、事業場の生産活動により生じた排水
- ⑧雨水を貯留し、トイレ等に利用することにより生じた排水
- ⑨その他の雨水以外の排水

(2)雨水

- ①雨水
- ②地下水(地表面に流れ出てくる湧水)
- ③雪解け水
- ④その他の自然水

参考 一般的な排水管

- 素材は、硬質塩化ビニル
- 太さは、直径10cm
- 硬質塩化ビニルは、熱に弱いので、熱湯を流してはいけない。

参考 「雨水ます」と「汚水ます」について

- 「汚水ます」は、原則として1軒の家に1個ついている。
- 「雨水ます」は、周囲の面積などから受け入れる雨量を計算して道路の両側についている(雨の流入の多い交差点には必ず設置してある)。
- 「雨水ます」は、大量に降った雨を早く取り込めるよう、格子状のふたもある。

よごれた水のゆくえ

みんなが使った水はどこへ行くのだろう?

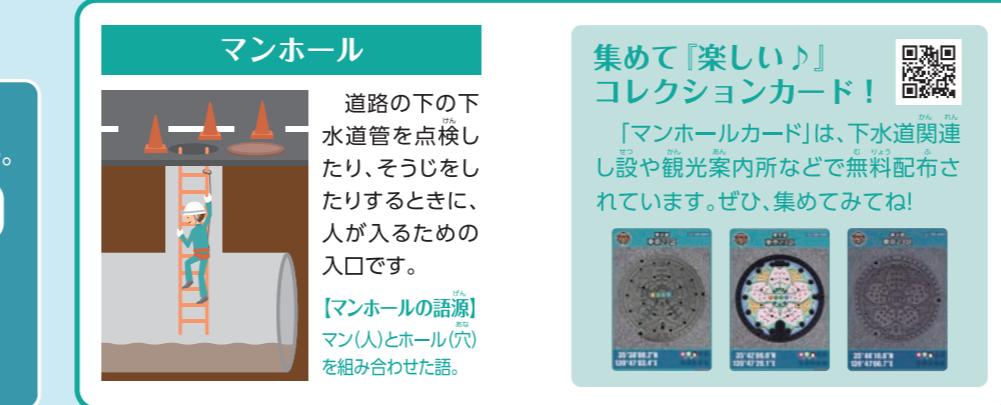
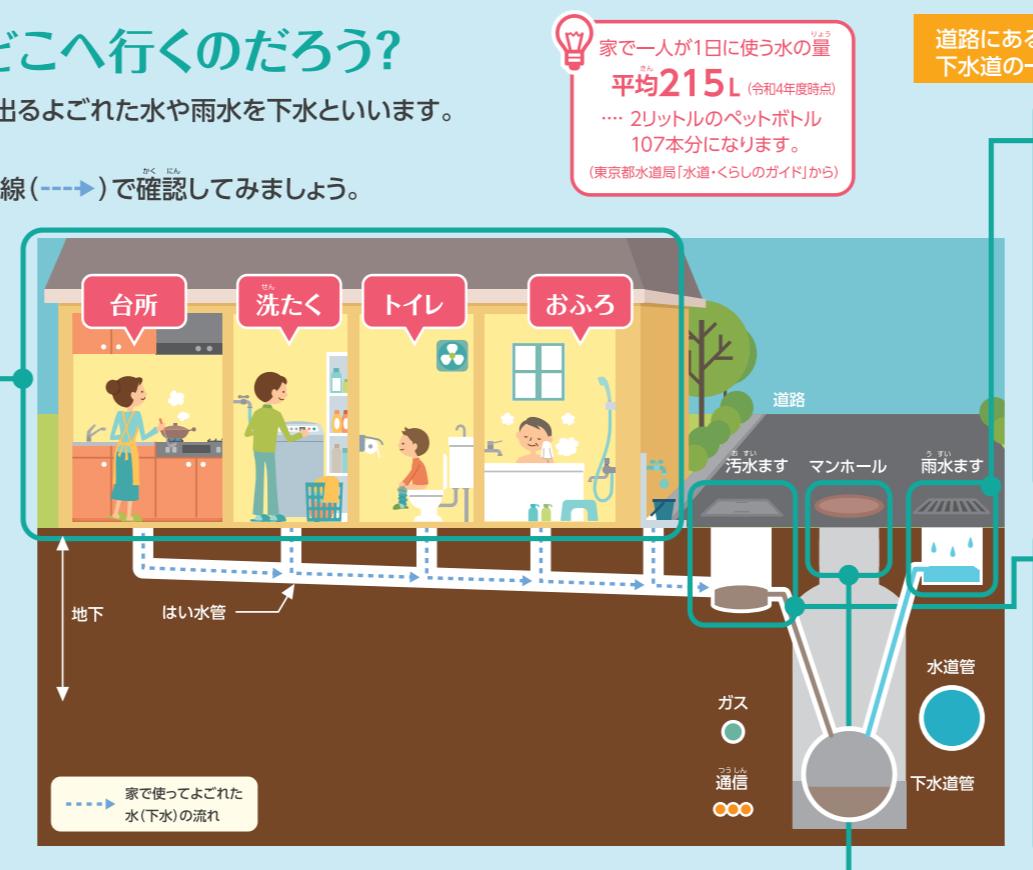
私たちの家や学校、工場などから流れ出るよごれた水や雨水を下水といいます。下水はどこへ行くのでしょうか。

家から流れ出る下水のゆくえを下の点線(→)で確認してみましょう。



家や庭の下には、よごれた水や雨水を流す管(はい水管)がうめられています。はい水管は、道路の下にある下水管管につながっています。はい水管は熱に弱いので熱湯を流さないようにしましょう。

場所	(家・学校など)
予想	88 個
結果	88 個



参考 「マンホールカード」について

「下水道広報プラットホーム(GKP)」が発行している下水道をPRするための広報ツールである。近年人気が高まっており、これまでに900種類以上のカードが発行されている。東京都下水道局でも5種類発行しており、局の広報施設等で配布している。



参考 「マンホール」について

●「マンホール」は、道路の合流点や折れ曲がった所のほか、一定距離以上合流点のない直線道路では、中間点付近に設置されている。

●23区内のマンホールふたのほとんどは、写真に示したタイプのものを使用しているが、多摩地域では、市町村ごとに異なったデザインのマンホールふたを使用している。

●マンホールふたの直径は、60cm、75cm、90cmの3種類あり、重さはおよそ40kgから120kgまである。

都内30市町村のマンホールふたデザインは以下のホームページで紹介されています。

公益財団法人東京都都市づくり公社
「下水道の森ウェブサイト」
(https://gesuidounomori.jp/library/manhole.html/)



参考 合流式と分流式

●「合流式」の下水道は、污水と雨水を同じ下水管で集めて水再生センターに送り処理する方式(3、4ページの絵は合流式)

●「分流式」の下水道は、雨水は雨水管を通じて川や海に流し、污水は污水管を通じて水再生センターに送り処理する方式

●23区の下水道は約8割が合流式

●全国的には、ほぼ逆の割合で分流式が多い

※23区に「合流式」が多い理由

「合流式」は、雨水と污水を一本の下水管で流すため、分流式と比べて、安い費用で短期間に整備することが可能であり、また、一本の下水管で浸水対策とトイレの洗浄を行なうことができる。そのため、早期に下水道の整備に着手した東京などの大都市を中心に採用されている。

下水管と働く人たち

下水管

【学習のめあて】

- 道路の下に、下水管が網の目のように敷かれていることを理解する。
- 下水はだんだん大きな管に集められて水再生センターへ流れいくことを理解する。
- 下水道の施設を管理したり建設したりする仕事をあることを調べ、下水道事業が地域の人々の良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する。

【指導のポイント】

- 下水管の直径と同じ長さのひもを作って、その大きさを体感させる。
- 下水道施設の点検や工事を行う際の苦労や工夫について、写真や解説から読み取らせる。
- 働く人たちが人々の健康なくらしのために大切な役割を果たしていることをとらえさせるために、下水道を守る人たちがいなかったらどうなってしまうかを考えさせるようにする。
- 下水道の工事現場を見かけたことがあるか、また、どんな様子だったかを発表させる。

※路上工事には下水道だけでなく水道、電気、ガスなど他の業種の工事もあり、工事看板に示されている。
※工事現場は危険な場所もあるので、近づき過ぎないよう注意する。

参考 下水管

下水管は水再生センターに近くなると、あちこちの下水が集まり水量が増えるため、管の直径が大きくなる。最も小さい管が直径25cm、大きな管は8.5mある。高さ8.3m、幅7.2mの四角い下水管もある。

参考 わたしの流した水はどこへ?

自分の流した水が、どこの水再生センターで処理されるのか、下水道局のホームページで調べることができます。

- ①東京都下水道局ホームページ
(<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>)
- ②広報・教育・見学
- ③見学案内
- ④水再生センター一覧
- ⑤地図で探す



23区の下水管の埋設状況を開覧することもできます。

- ①東京都下水道局ホームページ
- ②下水道台帳
(<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/contractor/daiocy>)



【下水の流れ】

下水管は緩やかに傾いているため、高い方から低い方へ向かって自然に流れる。そのため、下水管は徐々に深くなっている。地下深くを流れる下水はポンプ所(7ページ参照)で地上近くまでくみ上げて、再び自然に流す。

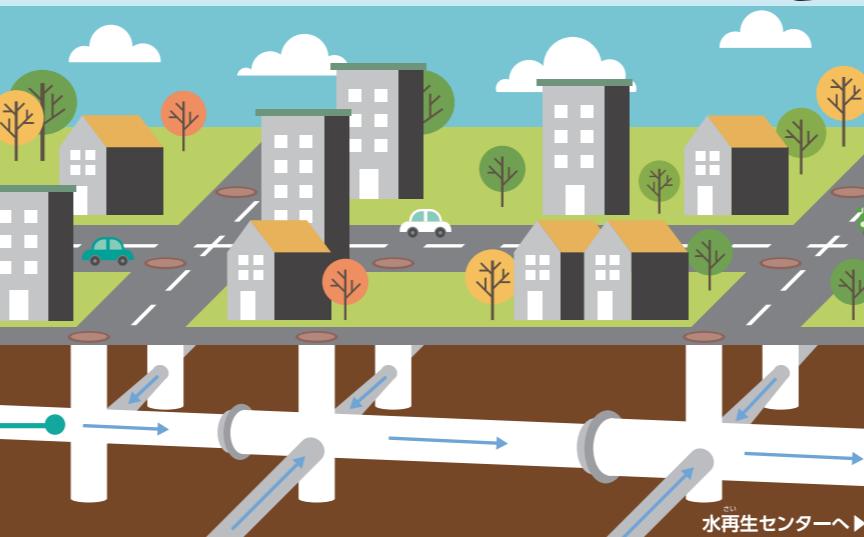
参考 下水管の点検

点検は、人が下水管の中に入り点検を行うが、人が入れない小さい下水管の場合、テレビカメラを入れ、地上のモニターを通して点検を行う。

下水管と働く人たち

下水管はどこにつながっているのだろう?

汚水ますや雨水ますを通ったあと、下水は、道路の下にある下水管に集まり、水再ていきます。水再生センターに近くなると、たくさんの下水が集まり、下水管が大きくなっています。下水管は下の図のように、街の下にあみの目のように張りめぐらされています。



下水管をつくる

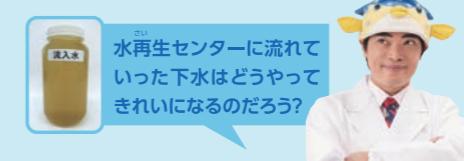
下水管は、道路をほって管をうめたり、地下にトンネルをほって中で管を組み立てたりしてつくります。また、古くなった下水管をつくり直す工事もしています。



5



生センターまで流れています。



下水管を守る

下水管の中にどろやゴミがたまると、下水の流れが悪くなったりあふれたりする原因となります。また、下水が流れないと悪臭の原因にもなります。下水が水再生センターまで流れるように、点検やそうじをしています。



下水管を点検しているところ

下水管に油を流すと、油が冷えて固まり、つまりや悪臭の原因となります。また、大雨が降った時、固まった油が下水管からはがれてオイルボールとなり、川や海に流れて水かん境をよごしてしまうことがあります。



油でつまりかけた下水管の中

140年前に作られた下水管



下水道局の浅香さんのお話

下水管がこわれたりつまつたりしないように、マンホールの中に入って、調査や清掃を行なっています。直径80cm以上の大きな管は人が入って点検し、小さな管は専用のカメラを管の中に入れてパソコンで確認しています。下水道局で働いている人たちは、下水道を大切に守っています。今から140年前の明治時代に作られたレンガの下水管が今でも使われているところがあります。みなさんも油やごみを下水道に流さないようにして、大切に使ってください。

参考 下水管の掃除

下水管の中にたまつた土砂等は、機械で取り除く。しかし、機械だけでは取り除き切れない場合は、人が下水管に直接入って作業する。

参考 下水道に油を流してはいけない

下水管に入った油は、管を流れるうちに冷えて固まる。それが管の内側にこびりついて下水の流れが悪くなり、つまりや悪臭の原因となる。また、大雨が降った際などに、管にこびりついた油がはがれてオイルボールとなって流れ出し、川や海を汚してしまうことがある。

参考 下水管の工事

道路を通行する車や人への支障を減らすため、工事を夜間に実行したり、道路を掘ることなく下水管を敷設する方法の工事を行なうように努力している。

参考 シールド工法について

5ページに紹介している工事の方法は「シールド工法」といい、大きな下水管を新たに作る場合に採用する。地中を掘る機械をシールドマシンという。

参考 140年前の下水管

現在のJR神田駅付近に作られた「神田下水」の一部が今も使われている。(14ページ参照)

6

5

水再生センターのしくみ

水再生センターのしくみ

【学習のめあて】 ●図や写真を参照しながら、下水処理のしくみを理解する。

●水再生センターへ流れた下水が、どのようにしてきれいになるのか調べ、水再生センターの工夫について考える。

【指導のポイント】 ●特に、沈砂池や第一沈殿池で大きなゴミを取り除いた後、反応槽で微生物が汚れをきれいにすることを理解させる。

●微生物を活用するなど、環境にやさしい方法で下水をきれいにしていることを理解させる。

ポンプ所

下水道管に集められた下水は、ポンプ所を中継して、水再生センターに送られる。下水は自然流下を利用して流すため、水再生センターに近くほど地下深くになってしまい、そのため相当の深さになるとポンプで下水を地表近くまでくみ上げて再び自然流下させる。

水再生センター

水再生センターでは、交代勤務を行い、365日24時間休みなく機械を運転管理して下水処理を行っている。また、下水がきちんと処理されているか、微生物の状況が適切かなどを確認するために、定期的に試験・検査を行っている。水再生センターへ流入した下水は、10~20時間かけて処理され川や海へ放流される。7、8ページの処理方法(活性汚泥法)では、BOD、CODを大幅に除去できる。(BODについては14ページ参照)

▶23区にある水再生センター 放流水の平均水質 (令和5年度実績)	項目	流入水	放流水
	BOD	160	6
	COD	88	9

(単位:mg/l)

活性汚泥法

微生物を含んだ活性汚泥を使って下水を処理する方式で、多くの水再生センターで採用されている。活性汚泥とは、各種微生物のあつまりのこと。反応槽で下水に空気を送り込んでかき回すと微生物が汚れを食べて分解し、重たくなって沈みやすい泥(活性汚泥)になる。

参考 都内全ての水再生センターの処理水量を表すと

約550万m³程度(1日あたりの処理水量)

参考 処理水量が最も多い水再生センター

森ヶ崎水再生センター
1,120,110m³(1日あたり)
25mプール3,734杯分

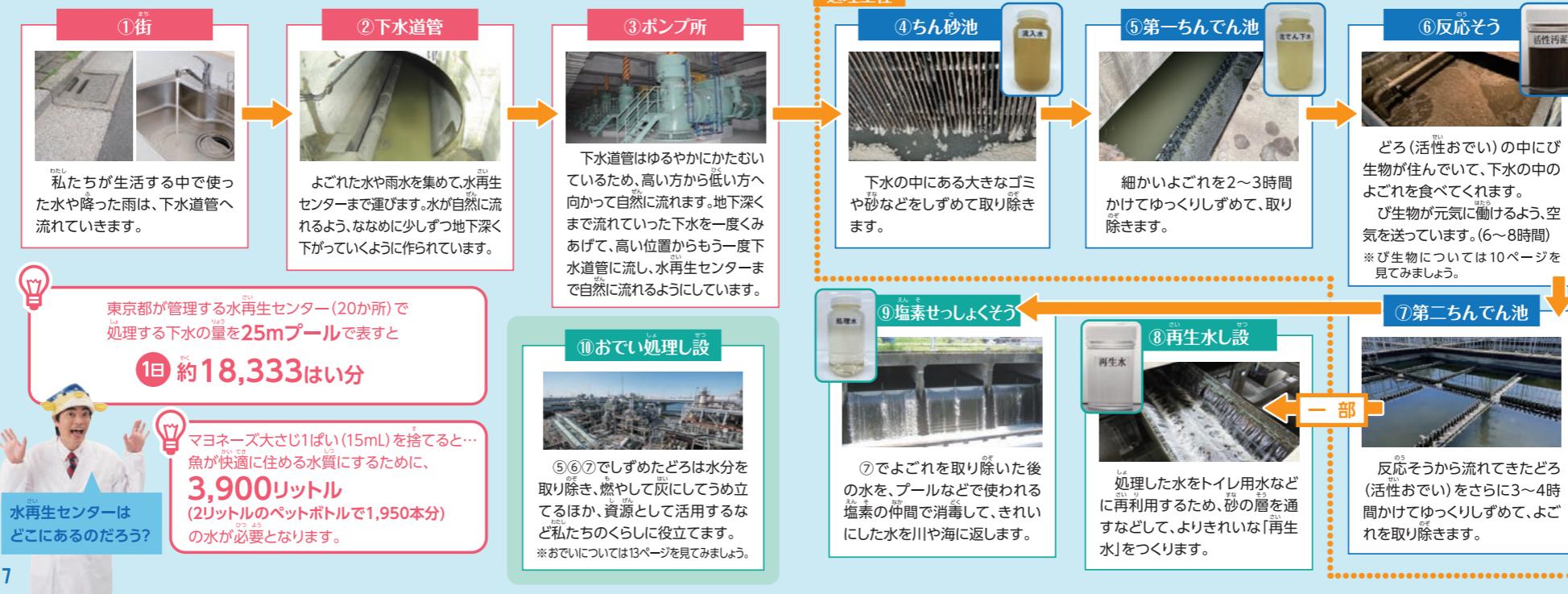
参考 処理水量が最も少ない水再生センター

有明水再生センター
14,300m³(1日あたり)
25mプール48杯分

水再生センターのしくみ

下水はどうやってきれいになるのだろう?

下水は水再生センターでさまざまな工程を経てきれいになり、川や海へ返されています。下水道を正しく使うことが、私たちの暮らしや、川や海を守ることにつながります。



水再生センターの各処理工程

沈砂池

水再生センターに流入した下水中のゴミや砂を沈めて取り除く。特に大きなゴミは、写真のようなスクリーン(柵)でかきあげて取り除く。

第一沈殿池

下水をゆっくり流して下水中の比較的沈殿しやすい固形物(沈砂池を通過した土、汚物等)を除去する。(一般的な滞留時間は2~3時間)

反応槽

第一沈殿池を通過した微細な汚れや水に溶けた汚れを取り除くために、微生物の入った活性汚泥を下水に混ぜて、微生物が活動できるように空気を送り込んでかき回す。微生物は、汚れを食べるとともに、小さな浮遊物などを凝集・吸着して沈みやすい泥の固まりを作る(一般的な反応時間は6~8時間)。反応槽内に出現する微生物の種類は、汚泥量、有機物量、空気量などの条件によって異なるが、100倍の顕微鏡で観察すると、一般に50~60種類くらいの観察できる。

第二沈殿池

汚れを凝集・吸着した微生物の固まり(活性汚泥)をゆっくり沈ませて、上澄み(処理水)と分離させる(一般的には3~4時間)。上澄みは殺菌のための塩素接触槽に送られる。微生物は栄養素の摂取により増殖するので、沈んだ活性汚泥の一部は反応槽に返送され下水処理のために使われるが、余剰分は汚泥処理施設へ送られる。

再生水施設

処理水をさらにきれいに処理して、再利用できるようにした水を再生水という。再生水を作るために砂ろ過や膜ろ過による汚れの除去、オゾンによる殺菌、脱色などの処理を行う。再生水は、水洗トイレ用水や公園の親水施設に利用されている。

汚泥処理施設

汚泥の水分を取り除き、焼却処分する施設。その焼却灰から、下水道管の材料などのリサイクル品がつくられる。

塩素接触槽

処理水を次亜塩素酸ナトリウム溶液と接触させ大腸菌等を殺菌する。

東京都下水道局HPでは、動画以外でも下水道について楽しく分かりやすく学習することができます。
①東京都下水道局ホームページ
(https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/)
↓
②広報・教育・見学
↓
③教育・キッズコーナー
↓
④キッズコーナー
(https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/pr/kids/corner)



水再生センターで働く人たち

水再生センターの仕事内容

【学習のめあて】

●水再生センターで働く人たちは、1日24時間365日、わたしたちが使った汚れた水をきれいにするために様々な工夫や努力をしていることを理解する。

【指導のポイント】

- 水再生センターで働く際の大変さについて、写真や解説から読み取らせる。
- 「施設の運転」、「設備の維持管理」、「水質検査」のうち、興味のある仕事についてさらに調べさせる。
- 実際に水再生センターに行き、下水道局の職員に話を聞いてみるように促す。

参考 下水道局職員の仕事内容

下水道局では約2,500人の職員が働いている。以下では下水道局職員の仕事内容を紹介する。

【土木職員】

東京都区部において、下水道管は総延長約16,000kmであり、これは東京・シドニー間を往復する距離に当たる。また、マンホールは約48万個設置されている。担当する主な業務には、これら施設の老朽化対策にあわせて機能の向上を図る「再構築事業」や、局地的な大雨などから都市を守る「浸水対策事業」、首都直下地震等に備える「震災対策事業」、そして、施設の機能を維持するための「維持管理事業（管路内調査・清掃、補修工事）」がある。

【機械・電気職員】

都内には下水をきれいにする東京都管理の水再生センターが20か所（市町が管理する処理場は4か所）、汚水や雨水をくみ上げるポンプ所が83か所あり、様々な機械や電気設備が設置されている。機械・電気職員はこれらの設備の点検や故障時の対応、施設の運転監視だけでなく、老朽化した施設を改修するための工事の検討・設計・積算、着工後の監督等の業務を行っている。

【環境検査職員】

環境検査職員の主な業務は水質管理である。下水をきれいにして川や海に放流する水再生センターにおいて、放流水の水質を管理するだけでなく、天候などの状況変化に応じて最適な運転方法を決めることが重要な業務である。また、各水再生センターでの処理状況にばらつきが出ないように調整する業務のほか、下水に有害物質が流入しないように監視する業務など、多岐に渡る水質管理業務を担っている。

活やくするび生物

活やくする微生物たち

【学習のめあて】

- 下水をきれいにする微生物の働きを理解する。

【指導のポイント】

- 写真や映像などから、微生物に关心を持たせる。
- 微生物を活用し、環境にやさしい方法で下水をきれいにしていることを理解させる。
- 可能であれば顕微鏡を使って微生物の様子を観察し、自分たちが流した水を微生物がきれいにしてくれることを実感させる。
(観察には、顕微鏡1台に活性汚泥1~2滴程度の量で済むので、1クラス分で500mLのペットボトル1本分で十分)

※微生物の入っている「活性汚泥」を授業等で使用したい場合は、施設管理部環境管理課(03-5320-6625)に連絡していただくと、近くの水再生センターを紹介しますので、その水再生センターで入手してください。

(水再生センターの所在地は20ページを参照)

※注意：微生物の観察が終わったら必ず石けんできれいに手を洗い、残った活性汚泥は下水道に流してください。

参考 微生物図鑑

下水処理で活躍する微生物の種類や詳細を、動画付きの微生物図鑑として下水道アドベンチャーWEBサイトで見ることができる。



マクロビオツス

マクロビオツス
Macrobiotus

日本語名 クマムシ
分類 肝足動物 線形動物 直脚目 チョウメイムシ科
大きさ 体長0.3~1.0mmくらいです。
形態 体はうすいキチュー型の體でおわれ、棘脚毛、よろい板を持っています。直脚の脚部に、先端部に凹があります。口と肛門の附近に、それぞれ頭があります。

水再生センターで働く人たち

働く人たちはどんな仕事をしているのだろう？



下水道局の高橋さんのお話

私たちちは1日24時間365日、水再生センターを動かし、よごれた水をきれいにして、川や海がよごれないよう守っています。たくさんの人たちが働いている水再生センターの中をご案内します。

中央かん視室

全体の状きょうが分かる大きなモニターと、それぞれの機械を操作するためのパネルなどがあります。昼、夜、深夜の3グループで交代しながら、この部屋からポンプ所とセンター全体を動かしています。



▲中央かん視室

水再生センター内の設備

大切なたくさんの設備が、いろいろなところにあります。これらが正しく動いているか点検して回り、修理や、古くなった機械を新しくするための工事もしています。



▲設備の点検

水質試験室

処理をする工程のいろいろなところから水を集め、よごれた水をきれいにできているか、び生物が働いているかなどをチェックする部屋です。結果はセンターに連らくして、必要に応じて機械をコントロールします。



▲水質の検査
▲けんび鏡でび生物の状態をチェック

川や海はみんなのものです。例えばごみや油を流さないなど、下水道を正しく使うことで、私たちといっしょに川や海をきれいにしていきましょう。

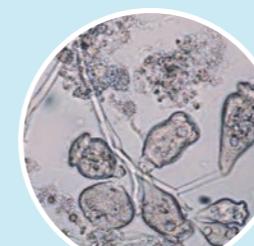
活やくするび生物

どんなび生物がいるのだろう？

水再生センターの反応そうの中には、下にあるように、けんび鏡で見ないと様子が分からぬほど小さなび生物がたくさんいます。び生物は下水にとけているゴミやよごれを食べて分解し、よごれた水をきれいにしています。この方法は、薬ざいを使わないかん境に優しい方法です。

エピステリス

(頭の長さ0.05mmぐらい)



たくさんつながってむれになっています。

ユーグリファ

(0.05~0.1mmぐらい)



たまごの形をしたカラをもつたアメーバのなかもです。

アメーバ

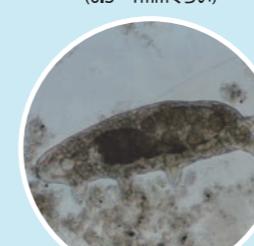
(0.05mmぐらい)



決まった形をしていません。体の形を変えながら移動します。

マクロビオツス

(0.5~1mmぐらい)



クマムシともよばれています。足が8本あり、つめがはえています。

ペラネマ

(0.05mmぐらい)



べんもうと言われる長い毛をもっています。向きを変えたときは、体を丸くします。

カエトノツス

(0.2mmぐらい)



イタチムシともよばれています。お尻が2つに分かれています。



下水道アドベンチャーWebサイトでは、動くび生物も見られるよ。
<https://www.gesuido-adventure.jp/zukan/>



下水道アドベンチャーWEBサイト
「微生物図鑑」
(<https://www.gesuido-adventure.jp/zukan>)



水再生センターマップ

わたしたちの地域の下水はどこに行くのか

【学習のめあて】

- わたしたちが生活の中で使った汚れた水が下水管に流れ、どの水再生センターに流れいくのか調べ、水再生センターは、区市町村の行政区間を越えて下水を処理していることを理解する。

【指導のポイント】

- これまでの学習を振り返り、わたしたちが使った汚れた水を処理し、川や海をきれいに保つためには、下水管を点検・清掃する人や、水再生センターで働く人がいることを意識させる。
- 水再生センターの分布を地図から読み取り、区市町村の行政区画を超えて下水を処理していることを認識させ、わたしたちと地域とのつながりについて考えさせる。

各水再生センターの処理区域

●多摩地域

北多摩一号水再生センター[☎ 042-365-4302]

府中市・国分寺市の大部分、立川市・小金井市・小平市・東村山市の一部

一日の処理能力 260,700m³/日

南多摩水再生センター[☎ 042-365-4302]

多摩市・稲城市の大部分、八王子市・町田市・日野市の一部

一日の処理能力 159,250m³/日

北多摩二号水再生センター[☎ 042-572-7711]

国立市・立川市の大部分、国分寺市の一部

一日の処理能力 98,300m³/日

浅川水再生センター[☎ 042-572-7711]

日野市の大部分、八王子市・町田市の一部

一日の処理能力 118,350m³/日

多摩川上流水再生センター[☎ 042-545-4120]

青梅市・昭島市・福生市・羽村市・瑞穂町の大部分、立川市・武蔵村山市・奥多摩町の一部

一日の処理能力 264,700m³/日

八王子水再生センター[☎ 042-545-4120]

あきる野市・日の出町・檜原村の大部分、八王子市・日野市・昭島市・羽村市の一部

一日の処理能力 207,800m³/日

清瀬水再生センター[☎ 042-494-1451]

東村山市・東大和市・清瀬市・東久留米市・西東京市の大部分、武蔵野市・小金井市・小平市・武蔵村山市の一部

一日の処理能力 364,450m³/日

※市町がもつ処理場

- ・三鷹市…東部水再生センター
- ・町田市…成瀬クリーンセンター
鶴見川クリーンセンター
- ・奥多摩町…小河内浄化センター

奥多摩町の小河内浄化センターは、水再生センターマップ外に位置します。

水再生センターマップ

水再生センターはどこにあるのだろう?

私たちが使った水は、どの水再生センターに流れ処理されるのでしょうか。
下の地図を見て確認してみましょう。



ポンプ所の立地

ポンプ所は、各水再生センターの処理区域内で、下水を水再生センターまで自然流下させる勾配が取れない場合に設置し、その機能上、土地が比較的平坦な臨海部や隅田川、荒川沿岸及び低地帯(11ページ「東京の地形」図参照)に集中している。

●東京23区

芝浦水再生センター[☎ 03-3472-6411]

千代田・中央・港・新宿・渋谷区の大部分、品川・文京・目黒・世田谷・豊島区の一部

一日の処理能力 830,000m³/日

三河島水再生センター[☎ 03-3802-7997]

荒川・台東区の全部、文京・豊島区の大部分、千代田・新宿・北区の一部

一日の処理能力 665,000m³/日

砂町水再生センター[☎ 03-5632-2180]

墨田・江東区の全部、中央・港・品川・足立・江戸川区の一部

一日の処理能力 658,000m³/日

有明水再生センター[☎ 03-5564-2035]

臨海副都心とその周辺地域

一日の処理能力 30,000m³/日

中川水再生センター[☎ 03-3606-2812]

足立区の大部分、葛飾区の一部

一日の処理能力 225,000m³/日

小菅水再生センター[☎ 03-5680-1993]

葛飾・足立区の一部

一日の処理能力 200,000m³/日

葛西水再生センター[☎ 03-5605-9992]

江戸川区の大部分、葛飾区の一部

一日の処理能力 400,000m³/日

落合水再生センター[☎ 03-3366-6964]

中野・新宿・世田谷・渋谷・杉並・豊島・練馬区の一部

一日の処理能力 450,000m³/日

中野水再生センター[☎ 03-3366-6964]

中野・杉並区の一部

一日の処理能力 100,000m³/日

みやぎ水再生センター[☎ 03-3919-7458]

北区の大部分、板橋・豊島・足立区の一部

一日の処理能力 350,000m³/日

新河岸水再生センター[☎ 03-3930-9731]

練馬・板橋・杉並区の大部分、中野・北・豊島・新宿区の一部

一日の処理能力 670,000m³/日

浮間水再生センター[☎ 03-3969-2457]

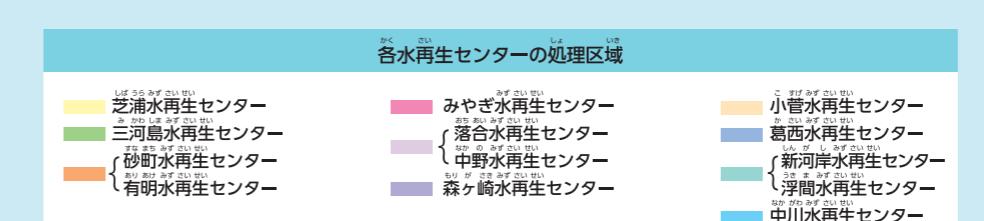
練馬・板橋・杉並区の大部分、中野・北・豊島・新宿区の一部

一日の処理能力 165,000m³/日

森ヶ崎水再生センター[☎ 03-3744-5981]

大田・品川・目黒・世田谷区の大部分、渋谷・杉並区の一部

一日の処理能力 1,540,000m³/日



資源の有効利用

資源の有効利用

【学習のめあて】

●下水道事業は、生活排水をきれいにして川や海に返す役割のほかに、処理した水や汚泥を有効利用して暮らしに役立てていることを理解する。

【指導のポイント】

●再生水の利用：下水を処理した後の水を更にきれいにした水を「再生水」といい、「ゆりかもめ」の洗車やビルのトイレ用水などの事業に利用していることを紹介する。

●汚泥の利用：下水処理の過程で出た汚泥を焼却処理した灰は、埋め立てられるほかに下水管の材料などにリサイクルされていることを紹介する。

写真に使われている資源

①焼却灰入ヒューム管

汚泥を焼却した灰に他の原料を混ぜて、下水管として利用している。

②「ゆりかもめ」の洗車

再生水が「ゆりかもめ」の洗車に利用されている。

③トイレ用水

再生水が、東京都庁舎をはじめ多くのオフィスビル等のトイレ洗浄用水として利用されている。

④落合水再生センター「せせらぎの里公園」

再生水が、公園の池の水として利用され、地域の人々の憩いの場になっている。

⑤清流復活事業(写真は玉川上水)

都市化に伴い水量が減少した川に再生水を放流することにより、清流を復活させている。

(城南三河川の清流復活)

渋谷川・古川・目黒川・呑川へ、落合水再生センターから送水している。

(多摩地域の清流復活)

野火止用水、玉川上水、千川上水へ、多摩川上流水再生センターから送水している。

⑥打ち水用水

再生水で打ち水を行い、ヒートアイランド対策に取り組んでいる。

川の変化

下水道ができる前とできた後

【学習のめあて】

●下水道ができたことで、わたしたちの生活がどのように快適になったかを理解する。

【指導のポイント】

●川が汚いことで、本書に載っている事例のほかに、どのような不便なことが起っていたか想像させる。

(例：川遊びができない。川魚を食べることができない。川に来る鳥に害を与える。汚い川が流れこむことで海も汚れる。など)

*旧三河島汚水処分場
旧三河島汚水処分場の代表的構造である唧筒施設は国の重要文化財に指定されており、見学も可能です。(要予約)

三河島重要文化財見学受付

- 電話番号:03-6458-3940
- 受付時間:9時00分～17時00分
平日(火、金、年末年始を除く)、土日・祝日



参考 下水道の歴史

1879年 日本でコレラが流行

1884年 東京の近代下水として、神田下水の建設が始まる

【下水道の整備】

コレラの流行により、下水道の必要性が認識されるようになり、神田下水の建設が始まる。今でも一部が現役で使用されている。

1900年 下水道法が制定される

1922年 東京の三河島汚水処分場が運転開始

【日本で最初の下水処理施設】

日本で最初の下水処理施設、三河島汚水処分場。現在の三河島水再生センター上部は、公園として活用されている。

1958年 新下水道法が制定される

1970年 「公共用水域の水質保全」を下水道の目的に加える

時代が進むと産業が発達し、都市化が進んで人口が増えていった。それによって生活排水などが川へと流れ込み、水質が悪化してしまった時代があった。

わたしたちが快適に過ごせるように、下水道はどんどん発達していった。

参考 環境基準とは

環境省が環境基本法に基づいて定めた基準。人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましいとされる数値を示しているもの。

BOD(生物化学的酸素要求量)

水の汚れ具合を示す指標である。微生物が水中の有機物を食べるときに消費する酸素の量であらわす。5mg/L以下でコイやフナが、3mg/L以下でアユがすめると言われている。汚れの指標としては、他にCOD(化学的酸素要求量)がある。

資源の有効利用

おでいやきれいになった水はどうなるのだろう?

下水をきれいにすると中で出たどろ(おでい)を焼いて灰をつくり、セメントの原料などに有効利用して私たちの生活に役立てられます。

下水をきれいにした処理水は川や海に返しますが、一部はもっときれいにした再生水にして、もう一度私たちの生活の中で使われます。

下の写真の中では、それぞれ下水をきれいにすると中で出たどろ(おでい)や再生水を使っています。

下水管 おでいを焼いてつくった灰に他の原料を混ぜ、下水管をつくっている。

ゆりかもめ 再生水が「ゆりかもめ」の洗車に利用されている。

トイレ 再生水が、東京都庁舎をはじめ多くのオフィスビルなどのトイレ洗浄用水として利用されている。

公園のせせらぎ 再生水が、公園の池の水として利用され、地域の人々の憩いの場になっている。

川 水の量が減った川に再生水を流すことで、川の流れを復活させている。

打ち水 再生水を使って打ち水を行い、ヒートアイランド対策に取り組んでいる。

川の変化

下水道ができる前とできた後

下水道ができる前の多摩川

街中にドブ(道路わきのよごれがたまたみぞ)があり、いやなにおいがしたり、カやハエが発生していた。

大雨が降ると、街が水びたしになっていた。

50年前 家庭や工場などから出たよごれた水がそのまま川に流れこみ、川がよごれていた。

川がよごれてしまつたことで、アユがいなくなってしまったよ

下水道ができる後の多摩川

街中にドブはなくなり、いやなにおいや、カやハエの発生がなくなった。

大雨が降っても、街中が水びたしにならなくなった。

今 多摩川に戻ってきたアユ

家庭や工場などから出たよごれた水が水再生センターできれいな水となって川に返され、生き物のたくさんいるきれいな川がよみがえった。

多摩川の水質と下水道ふきゅう率

*BODとは、水のよごれ具合を示すもの。数値が低いほど水がきれいであることを示す。

*ふきゅうとは、広く行きわたること

世界の水環境はどうなっているのでしょうか?

年	BOD (ppm)	下水道のふきゅう率 (%)
1971	6.6	19.9
1975	9.4	31.6
1979	9.0	43.2
1983	7.1	56.8
1987	9.0	66.9
1991	6.3	75.2
1995	8.5	89.7
1999	2.3	95.3
2003	2.1	98.5
2007	1.7	98.9
2011	1.8	99.3
2015	2.1	99.4
2019	1.6	99.4
2022	1.3	99.5

下水道がない国の状況

【学習のめあて】

●世界には、今も下水道が整備されておらず、水環境や衛生環境の悪化、浸水被害などが深刻な問題となっている国や地域があることを理解する。

【指導のポイント】

●下水道が十分に整備されていない国や地域があることを知る。

下水道が未整備の国に対して、下水処理施設整備のニーズに応えるため、わが国では下水道技術の輸出などさまざまな支援を行っている。

●下水道が生活環境にいかに重大な影響を及ぼすかを理解させる。

世界の水環境とSDGs

SDGsでは、2030年までに世界が達成すべき目標の一つとして以下①～③のような問題を解決するために、すべての人が平等に衛生施設を利用でき、屋外排泄をなくすことが掲げられている。これは、「SDGs6 安全な水とトイレを世界中に」を達成することにつながる。

※ユニセフ「衛生的な環境」より参照



①世界ではいまだ約5人に1人がトイレを使用できない

過去20年ほどの間に、トイレを使用できる人たちの割合は、少しずつ増加してきた。2000年には5%であったその割合は、2022年時点、81%まで向上。

②約5億人が屋外で排泄している

世界ではいまだ、道ばたや草むらなどの屋外で用を足す人々が多くいる。屋外排泄により、排泄物に含まれる病原菌が人の手やハエなどの虫、川、地面などを介して人の口に入り、下痢やかぜなどの病気を引き起こしている。

③年間におよそ52万5,000人以上もの子供たちが下痢性疾患で亡くなっている

不衛生な水や、トイレ以外の場所での排泄などが原因で、排泄物に含まれる細菌が体内に侵入。下痢などの病気を引き起こし、命を落としてしまうことも少なくない。

世界の水かん境とSDGs

下水道がないとどんなことが起きるの？

世界には今も下水道がない国があります。下水道が整備されていない国では、川や海がよごれ、大雨が降るとしん水ひ害が発生します。また、下水道がないため、トイレを使うことができない人々がたくさんいます。



下水道事業のSDGsへの関わり

下水道が整備されていることは、世界の大切な目標であるSDGsの達成に大きく関わってきます。例えば、生活で使って汚れた水を下水道へ流し、私たちの生活かん境をきれいに保つことは、SDGsの「6 安全な水とトイレを世界中に」につながります。

そのほかにも、道路や地面に降った雨を雨水ますを通して下水道管へ流し、街をしん水から守ることや、汚水を水再生センターできれいにしてから川や海に返し、水かん境を守っていることも、SDGsの達成に関わる下水道の大切な役割です。



災害時でも安心な下水道施設

【学習のめあて】

●災害時でも下水道施設が機能するための対策がとられていることや、災害時に役立つことを理解する。

【指導のポイント】

●トイレになるマンホールがあることを知り、災害時に役立てられることを紹介する。

実際に仮設マンホールトイレになるマンホールを探して実感させる。

●災害時でも普段通りに下水道を使って生活できるよう、さまざまな対策がとられていることを理解させる。

参考 再水貯留施設の貯水量

南砂雨水調整池の貯水量 25,000m³
和田弥生幹線の貯水量 150,000m³

参考 下水道施設の耐震化

地震により被害を受けやすい下水道管とマンホールの接続部の耐震化や、液状化現象によるマンホールの浮上を抑制する対策により、下水道機能や、緊急輸送道路などの交通機能の確保を進めている。

【水再生センター・ポンプ所の耐震化】

水再生センターの上部が避難施設に利用されている施設の耐震対策を行っている。また、想定される最大限の地震動に対して、必ず確保すべき機能を維持するため、耐震化を進めている。

参考 浸水対策

浸水対策を推進することで都市機能を確保する。1時間50ミリの降雨に対応する施設を整備するとともに、近年の1時間50ミリを超える豪雨により甚大な浸水被害が発生している地域では、幹線や貯留施設を整備し、対策に取り組んでいる。

①東京都下水道局ホームページ [※浸水対策の詳細](https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/)
(https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/)

②浸水ゼロ・安全・快適!下水道 https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/living/ameshi_shinsui_zero

参考 下水道災害時の他都市との連携

下水道災害時支援のため、全国の政令指定都市間で締結している協定や、下水道事業における災害時支援に関する全国ルールなどに基づき、自治体間の連絡・連携体制が整えられている。東日本大震災や熊本地震、能登半島地震の際には東京都からも職員を派遣し、被害状況の調査や復興支援を実施している。

災害時の下水道

災害があっても下水道は大じょう夫なの？

災害によって、下水道管・水再生センター・ポンプ所などがひ害を受けると、私たちはふ段通りの生活ができなくなってしまいます。

災害があっても下水道を使えるように、さまざまな対策がなされています。

大雨でも大じょう夫！

一時的に雨をためる施設を整備

台風などの大雨によるしん水ひ害を防ぐため、雨水を一時的にためておくことができる広いスペースや大きな下水道管を街の下につくっています。



▲南砂雨水調整池：25m
▲和田弥生幹線：中野区から杉並区まで通っている直径8.5m全長2.2kmの下水道管

地しんが来ても安心！

下水道施設のたいしん化

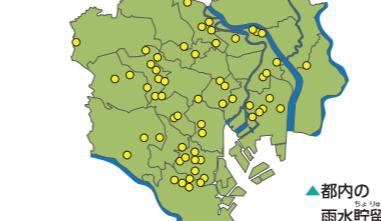
地しんが起きてても、私たちがふ段通り下水道を使えるように、下水道管・水再生センター・ポンプ所のたいしん化を進めています。



電気が止まっても安心！

非常用電源設備

災害により停電しても、水再生センター・ポンプ所の運転が止まらないよう、非常用電源設備の整備を進めています。



東京アメッシュでゲリラごう雨に備える

雨の状きょうがリアルタイムで分かる「東京アメッシュ」を使って、ゲリラごう雨などの情報をじん速にはあくし、しん水に備えています。

しん水ゼロ・安全・快適!下水道



このほか、災害があったときには、他の県や都市と助け合えるよう準備もしているよ。

考えてみよう

わたしたちができること

【学習のめあて】

- これまで学習してきた内容を振り返り、下水道の正しい使い方について考え、下水道マイスターとしてわたしたちができることは何かを考える。

【指導のポイント】

- 自分たちの下水道の使い方を振り返り、守らなければいけないことや気をつけるべきことなどを考えさせる。

参考 合流式下水道の問題点

汚水と雨水同じ一本の下水道管で流す合流式下水道では、晴天日と弱い雨の日には、下水の全量を水再生センターに集めて処理している。しかし、強い雨が降ると、市街地を浸水から守るために、汚水まじりの雨水を河川沿いの吐け口やポンプ所から河川や海などに放流している。その際、下水道管に付着した油やゴミが雨水と一緒に流れ出してしまうことがある。

このため、下水道管に油やゴミを流さないことが重要である。

参考 雨水ますの注意点(P4の再掲)

雨水ますの上に物を置いたり、集めたゴミなどを雨水ますの中に入れる、下水道管が詰まる原因となる。

なお、指導の際には、雨水ますのふたを開けないよう注意する。

私たちにできること (解答例)

- 雨水ますにゴミや落ち葉などを入れない。
- 油を捨てるときは、新聞紙や布などにしみこませて、燃えるゴミとして出す。
- 食器や鍋は、汚れをゴムべらなどでふき取ってから洗う。
- 排水口にゴミが流れないように、水切りふくろを使う。
- 揚げ物に使った油は、炒め物などに再利用する。

まとめてみよう

【学習のめあて】

- これまで学習してきたことをもとに、調べたことや考えたことを自分が選んだ方法でまとめる。

【指導のポイント】

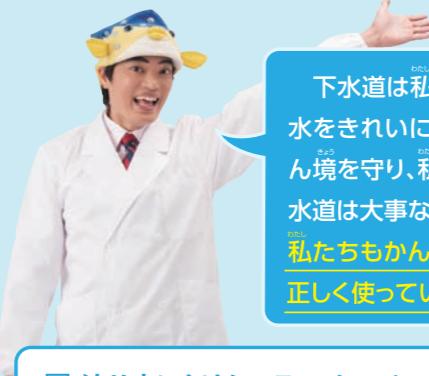
- 紹介したい事柄を明確にし、わかりやすく表現するにはどうしたらいいかを考えさせ、工夫させる。

新聞形式で
まとめる場合

- ①紹介したいことを2つか、3つ選ばせる。
 - ②レイアウトと見出しを考えさせる。
 - ③まとめ方を工夫させる。
- ★まとめ方の工夫としては「Q&Aでまとめる」「グラフや表を活用する」「キャラクター、イラストを活用する」などを紹介するとよい。
- ★グループで作業させる場合には、グループ内で児童の興味を活かしながら、担当を決めて作業をさせる。

考えてみよう

下水道マイスターとしてどんなことができるの?



下水道は私たちが毎日の生活で使っているたくさんの水をきれいにして、川や海へ返しているんだね。美しい環境を守り、私たちが安全で健康な生活を送るために、下水道は大事な役割を果たしていることが分かったかな?
私たちも環境を守るためにできることを考え、下水道を正しく使っていこうね!

- 油や水にとけないティッシュペーパーを台所のはい水口やトイレなどに流してはいけないことを、お家人やお友達に教えてあげよう。
- 雨水ますに小石を入れたりすることで、下水道管が詰まる原因になってしまわないように、注意しよう。
- 水再生センターや東京都虹の下水道館に行って、本物のし設を見たり、お仕事体験をしてみよう。



まとめてみよう

学んだこと、考えたことを、新聞やポスターなどにまとめてみよう!

新聞づくり



令和6年度小学生下水道研究レポートコンクール
新聞部門 最優秀賞
練馬区立練馬第三小学校 佐藤 和奏さん

①内容を考える

- ★下水道について疑問に思うことや興味があることを書き出し、調べてみたいことを研究テーマにするとともに新聞名を考える。
- ★何をどのような方法で調べるか考える。

②取材する

- ★身近な下水道の入口を探してみる。
- ★下水道局のし設を見学する。
- 東京都虹の下水道館・各水再生センター
- 下水道探検隊や夏のイベントなど

③レイアウトを考える

- ★読む人を思いながら、読みたいと思ってもらえるような見出しを考える。
- ★見出しにあわせて、調べて分かったことを分かりやすい言葉で具体的に書く。
- ★写真やイラスト、グラフなどを入れて読みやすくする。

④記事を書く

- ★研究テーマに合わせて調べたことから考えたことを最後にまとめて書く。
- ★記事はできるだけ自分の言葉を使って書く。
- ★書き間違ひがないか必ず見直す。

ポスターづくり



令和6年度小学生下水道研究レポートコンクール
ポスター部門 最優秀賞
港区立白金小学校 小野 統悟さん

標語づくり



令和6年度小学生下水道研究レポートコンクール
標語部門 最優秀賞
町田市立小山南小学校 石田 七海さん

まとめたものはレポートコンクールに応ぼせよう!(20ページ)

小学生下水道研究 レポートコンクール

1 目的

学習資料「みんなの下水道」や「まえ授業」、「水再生センター見学」、「下水道アドベンチャーWEBサイト」、「下水道局公式HP」等での学習の成果をまとめることを通して、下水道に関する理解を深める。

2 応募資格

東京都在住・在学の小学4年生

3 応募形式

1) 部門

- 新聞 ●ポスター ●標語

2) サイズ

- 新聞: 1枚あたりの大きさB4判以上
- ポスター: 1枚あたりの大きさB4判以上
- 標語: 規定の用紙…下水道局HPに掲載予定

3) 応募作品

- 個人またはグループ作品
- 各部門1作品まで
- 複数部門の応募も可(例:新聞と標語)

4 応募時期

- 7月受付開始予定
- 9月末締切予定

5 勝賞

- 各部門で、最優秀賞、優秀賞、入選を選出
- 入賞の有無に関わらず参加者全員に参加賞を贈呈

6 お問い合わせ先

下水道局総務部広報サービス課(03-5320-6515)
※応募時期など詳細は、下水道アドベンチャーウェブサイトに掲載

下水道アドベンチャーWEBサイト
(<https://www.gesuido-adventure.jp/concours>)

下水道豆知識クイズ

下水道豆知識

【学習のめあて】

●クイズで学びながら、下水道について振り返る。

【指導のポイント】

●これまでの下水道の学習の中で、面白いな、不思議だなと思ったことを題材にし、「下水道クイズ」を考えて発表し合うようにする。

参加型プログラム

でまえ授業 ぜひ、でまえ授業にお申し込みください!

下水道の仕組みと役割、使った水はどこへ流れていくのかなどを、映像・実験を用いて楽しく学習できる授業

●対象: 都内(島しょを除く)の小学4年生

●期間: 6月から11月までの平日及び土曜日(8月を除く)

●申込: 詳細は下水道アドベンチャーWEBサイト及び下水道局HPに記載

各小学校宛てに申込み方法等を記載したパンフレット類を送付



補足

A1

この仕組みをトラップという。トラップの形はいくつかあり、洗面台や流しの下に見られるS字形に曲がったものや、風呂場の排水口に見られるふた付きのものなどがある。また、トイレの便器の穴の部分に水が溜まっているものもトラップである。

A2

作業中にふたが落ちると大変危険なため、落ちないように工夫している。

A3

多摩地域の下水道は、都と市町村が協同して行う地域と市町村が単独で行う地域がある。

多摩地域で都が管理している下水道管の長さは、約230kmである。

A5

水再生センターの主な処理施設における標準的な処理時間

第一沈殿池	2~3時間
反応槽	6~8時間
第二沈殿池	3~4時間

下水道アドベンチャーWEBサイトでは、児童向け、先生向け、保護者向けの各クイズコーナーを用意しています。

下水道アドベンチャーWEBサイト
「下水道クイズ」
(https://www.gesuido-adventure.jp/quiz_list/)



下水道豆知識クイズ

下水道豆知識クイズにちょうど戦してみよう!

Q1

台所の流しや洗面台の下の管はなぜ曲がっているの?

Q3

23区の下水道管を全部つないだらどのくらいの長さになるの?

Q5

水再生センターで水がきれいになるまでに、どのくらい時間がかかるの?

Q2

マンホールのふたはなぜ丸いの?

Q4

小さくて人が入れない下水道管はどうやって点検するの?

Q6

1cmのさいころ型をしたおでいの中に、び生物はどのくらいいるの?

A1

水をためておいや虫を家の中に入れないためです。



A2

ふたが丸いと、マンホールの中に落ちないからです。四角いふたは、なめにすると落ちてしまいます。



A3

23区の下水道管の長さは、約16,000km。これは東京とオーストラリアのシドニーを往復したきよりとほぼ同じです。



A4

大きい下水道管には人が入って点検していますが、小さい管にはテレビカメラを入れて点検しています。



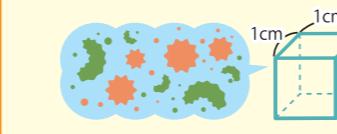
A5

下水が水再生センターに着いてから、きれいになるまでに、約半日~1日かかります。



A6

5,000~20,000匹のび生物があります。体は小さいですが、下水をきれいにするために大活躍しています。



クイズコーナー

https://www.gesuido-adventure.jp/quiz_list/

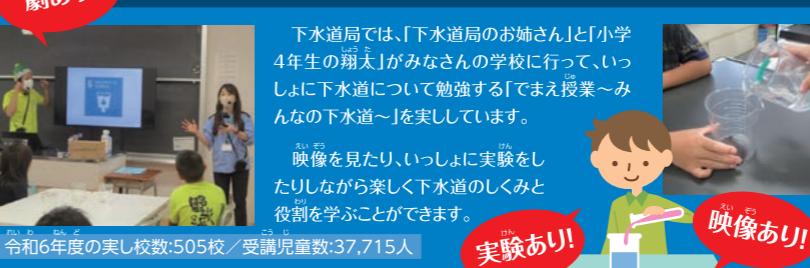


19

参加型プログラム

劇や実験、映像で楽しく学べる!

でまえ授業



令和6年度の実施校数: 505校 / 受講児童数: 37,715人



下水道や水かん境の大切さを実際に体感!

下水道しごと見学ツアー

ふ段目にふれることの少ない水再生センターなどの見学を通じて、下水道の役割や水かん境の大切さを学びます。さらに下水道の働きをきれいになった隅田川を水上バスからがめます。

令和6年度の参加者数: 27組54名



まとめたものを応ぼしよう!

小学生下水道研究レポートコンクール

【応ぼ形式】

①新聞部門 / ②ポスター部門 / ③標語部門

学校の授業や、夏休みの自由研究で作った作品をば集します。下水道で働く人の話を聞いたり、調べたりして、思ったことや感じたことなどをまとめて、応ぼしてみよう。

【応ぼ期間】令和6年7月~9月

令和6年度の応ぼ者数: 10,269人



20

水再生センターの見学申込先

●区部の水再生センター(①~⑯)

見学受付窓口 03-3241-0944

(受付時間: 平日 9:00~17:00)



●web予約

こちらから予約できます

●多摩地域の水再生センター(⑭~⑳)

各水再生センターに直接申し込み

水再生センター一覧

①芝浦水再生センター 港区港南1-2-28

②三河島水再生センター 荒川区荒川8-25-1

③砂町水再生センター 江東区新砂3-9-1

④有明水再生センター 江東区有明2-3-5

⑤中川水再生センター 足立区中川5-1-1

⑥小菅水再生センター 葛飾区小菅1-2-1

⑦葛西水再生センター 江戸川区臨海町1-1-1

⑧落合水再生センター 新宿区上落合1-2-40

⑨中野水再生センター 中野区新井3-37-4

⑩みやぎ水再生センター 足立区宮城2-1-14

⑪新河岸水再生センター 板橋区新河岸3-1-1

⑫浮間水再生センター 北区浮間4-27-1

⑬森ヶ崎水再生センター 大田区大森南5-2-25

⑭北多摩一号水再生センター 府中市小柳町6-6

☎042-365-4302

⑮南多摩水再生センター 稲城市大丸1492

☎042-365-4302(北多摩一号水再生センター)

⑯北多摩二号水再生センター 国立市泉1-24-32

☎042-572-7711

⑰浅川水再生センター 日野市石田1-236

☎042-572-7711(北多摩二号水再生センター)

⑱多摩川上流水再生センター 昭島市宮沢町3-15-1

☎042-545-4120

⑲八王子水再生センター 八王子市小宮町501

☎042-545-4120(多摩川上流水再生センター)

⑳清瀬水再生センター 清瀬市下宿3-1375

☎042-494-1451